

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和6年 9月30日)

事業コード	R6-建-継-22	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	二次改築(現道拡幅)	班 名	道路建設チーム (tel) 018-860-2492
路線名等	(主) 横手大森大内線	担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	横手市三本柳	担当者名	チームリーダー 佐藤 大
プランとの 関連	戦 略	防災・減災交通基盤	
	目指す姿	交流を支える交通基盤の強化	
	施策の方向性	高速道路等の整備	

1. 事業の概要

事業期間	H27 ~ R12(16年)	総事業費	19.0 億円	国庫補助率	0.55																																														
事業規模	延長L=2,240m、幅員W=6.5(12.0)m (2.5+1.5+3.25+3.25+1.5)m																																																		
事業の立案 に至る背景	<p>○主要地方道横手大森大内線は、横手市横手町と由利本荘市新田を結ぶ県道である。旧横手市、旧大森村、旧大森町、旧大内町を經由し、国道13号と国道105号を結ぶ主要な幹線道路であり、産業振興や救急医療、地域防災などの機能を担う非常に重要な道路である。</p> <p>○当該区間の車道幅員は狭く、沿線には物流基地が点在し車両交通量が多く混雑が多発する。一方で横手地区統合小中学校や平鹿総合病院などの公共施設が周辺に存在し事故も多発している。</p> <p>○第2次緊急輸送道路に指定されている本路線の機能を保持するためにも、早期に整備を実施する必要がある。</p>																																																		
事業目的	<p>○第2次緊急輸送道路としての機能を確保する</p> <p>○現道拡幅整備による安全で円滑な交通の確保</p> <p>・幅員の確保による車両等通行の安全性向上</p>																																																		
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,896,900</td> <td>1,896,900</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>532,600</td> <td>532,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>1,186,900</td> <td>1,186,900</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>177,400</td> <td>177,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>1,043,295</td> <td>1,043,295</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>768,245</td> <td>768,245</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>85,360</td> <td>85,360</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	1,896,900	1,896,900	0		経費内訳	工事費	532,600	532,600	0	用補費	1,186,900	1,186,900	0	その他	177,400	177,400	0	財源内訳	国庫補助	1,043,295	1,043,295	0	県債	768,245	768,245	0	その他				一般財源	85,360	85,360	0		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工		
	前回評価	今回評価	増減	理由等																																															
事業費	1,896,900	1,896,900	0																																																
経費内訳	工事費	532,600	532,600	0																																															
	用補費	1,186,900	1,186,900	0																																															
	その他	177,400	177,400	0																																															
財源内訳	国庫補助	1,043,295	1,043,295	0																																															
	県債	768,245	768,245	0																																															
	その他																																																		
一般財源	85,360	85,360	0																																																
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工																																																	
事業の進捗 状況	○令和5年度末で事業進捗率74%(用地進捗率は73%)。																																																		
事業推進上の 課題	○特になし																																																		
関連する計画等	<p>○横手地区ほ場整備(H27~R7)</p> <p>○第2次横手市総合計画</p>																																																		
情勢の変化 及び長期継続の理由	<p>○横手北スマートIC(R1年8月供用)</p> <p>○横手市から当該路線の整備について要望書提出</p>																																																		
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">県管理道路における道路改築率(年度)</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">改築率(県管理道路改築済み延長/県管理道路実延長)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>● 成果指標 ○ 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td colspan="2">○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>52.2%(R7末)</td> <td>データ等の出典</td> <td colspan="2">県調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>52.2%(R5末)</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>100.0%</td> <td>把握の時期</td> <td colspan="2">令和6年4月</td> </tr> </table>					指標名	県管理道路における道路改築率(年度)				指標式	改築率(県管理道路改築済み延長/県管理道路実延長)				指標の種類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		目標値 a	52.2%(R7末)	データ等の出典	県調べ		実績値 b	52.2%(R5末)				達成率 b/a	100.0%	把握の時期	令和6年4月																	
指標名	県管理道路における道路改築率(年度)																																																		
指標式	改築率(県管理道路改築済み延長/県管理道路実延長)																																																		
指標の種類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																
目標値 a	52.2%(R7末)	データ等の出典	県調べ																																																
実績値 b	52.2%(R5末)																																																		
達成率 b/a	100.0%	把握の時期	令和6年4月																																																

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○当該区間は幅員狭小（車道幅員 5.5 m）及び線形不良（最小曲線半径 20 m）で、事故が多発している。また、冬期堆雪帯がなく、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○死亡事故を含む死傷事故が発生している。	15点
緊 急 性	○国道 13 号と横手北スマートICを結ぶ区間において、道路構造規格を満足していないのは当該区間のみとなっている。	15点
有 効 性	○第2次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○三次救急医療施設等である平鹿総合病院へのアクセス性が改善され、救命救急体制の強化が期待される。	30点
効 率 性	○事業の費用便益比は 1.50 であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 32.0 億円 ・総費用の現在価値 21.3 億円 ○ほ場整備事業との調整により、田面排水と路面排水を兼用しコスト削減を図っている（施設は農林で設置、管理）。	18点
熟 度	○令和 5 年度末の事業進捗率は 74% である（用地進捗率は 73%）。	16点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	94点
	必要性、緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

再生資材の積極的な使用等により、コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (R6-建-継-22)
箇所名 (横手市三本柳)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	-	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	5		
		1箇所	3		
		該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 ・走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率 ≥ 50 件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	15	15	・現道の混雑度1.67 ・現道の走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率141.3件 ・死亡事故が発生 4項目
		2項目該当	10		
		1項目該当	6		
		該当項目なし	0		
計		15	15		
緊急性	道路を取り巻く環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	横手地区ほ場整備
		なし	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	主要渋滞箇所 (上真山交差点)
		なし	0		
同一路線の整備状況	整備済み	5	5		
	未整備	0			
計		15	15		
有効性	道路の位置付け				
	地域コミュニティの確保 (公共交通、公共施設・交流施設など)	該当する	7	7	羽後交通バス路線
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	8	8	平鹿総合病院
		アクセス性向上に貢献	6		
		アクセス性向上に一定の効果	4		
	地域防災計画重要な道路	該当する	7	7	第2次緊急輸送道路
		該当しない	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	横手北SIC供用 (R1.8)	
	必要性が低下傾向	4			
	必要性が著しく低下	0			
計		30	30		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.50
		1.0未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	7,800~13,400台/日
		500台/日以上1,000台/日未満	3		
		300台/日以上500台/日未満	1		
		300台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	ほ場整備区間で兼用排水路を設置
なし		0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	3	現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計		20	18		
熟度	事業の進捗状況				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	8	74%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	8	73%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
計		20	16		
合計			100	94	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP ・その他の別
主要地方道 横手大森大内線	三本柳工区	L=2.24km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,800~13,400	2	秋田県

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和6年度		
単純合計	17億円	5.4億円	23億円
基準年における 現在価値 (C)	19億円	1.8億円	21億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和6年度			
供用年	令和13年度			
単年便益 (初年便益)	2.2億円	-0.04億円	-0.02億円	2.2億円
基準年における 現在価値 (B)	33億円	-0.43億円	-0.28億円	32億円

③ 結果

費用便益比	1.50
経済的純現在価値	11億円
経済的内部収益率	5.9%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

